

「ありがとう」の はり紙

「このネコちゃん見かけたら教えてやつて」とお客様から手製のチラシを渡されました。お隣の家で可愛がっていたネコが行方不明になったのです。女の子に抱かれている白い子ネコの写真、名前は玉五郎とありました。それからバッグにチラシをいれて、伺った先でお客様にお尋ねしていました。よほど可愛がられていたのでしょう。気がつくと、電柱にも、スーパの掲示板にも同じお願いが貼ってありました。

十日ほどして遊歩道で、雨で消えないようにカバーをしたはり紙を見ました。

「ありがとうございます。玉五郎が家にもどりました。ご近所みなさん、お散歩の方、みなさんが心において探してくださいのおかげです。家族みんな大喜びしています。ネコちゃんが家族に囲まれている写真。欄外に「この紙は責任をもって回収します。」と。迷子のおたずねはよく見ますが、お礼の張り紙は初めてです。飼い主のご家族の手柄がつつたわってくるようでした。

五百号記念の『ありがとうのおたより』募集にお寄せくださった手紙の山を目にして、埼玉のハーティさんから聞いたこんな話を思い出しました。

株式会社ダスキン会長

伊東英幸

写真・市谷 健「なんにでも興味シンシン！」



喜びのタネまき新聞

読む人の幸せを心に願って作る

no.499

ふるちよの暮らこ

⑩

「島のひとびと」

いつも心に現れる故郷の風景は

過ぎた姿のまま、一枚一枚、並んで出てきます。

心を温かくしてくれるのは

叔母たちはじめひとびとのなつかしい姿です。

故郷の南の島では、夏は
台風銀座と言われるほどの
強い風で家々の瓦が飛ばさ

れそうになり、冬はあなせ
ん風（北西風）で人が飛ばさ
れそうになる。首がちぢみ

あがる程の勢いなのだ。

いままで登場してもらった
海や船、生きものたち、岩
や雲、そして民家や老婆た
ち。すべてが渾然一体で、こ
の島の主役だ。

小さい頃、道でバツタリ逢
うと、跳び上がらんばかり
に小躍りし、大げさな身振
りで僕の頭をさすったり、抱
きしめたり、頬ずりしたり
と忙しかった叔母たち。そ
してみんなが、

「いい子になれ！ 大きくな
れ！」と言うのだった。

僕は、とまどいながらニコ
ニコしているだけだったが、
今になって、あの叔母たちが
心から喜んでくれた意味が
わかるような気がする。中
学校までしかない島なので
卒業すると皆が内地の高校
へと出て行く。「子は宝」と
いうのが島の標語だが、こと
に叔母たちは子どもを見つ
けると踊りだす、感動テンコ
盛りのひとびとだった。

僕の中には、故郷の海山
にひとびとがいつまでも住ん
でいてそれをまた見たくて、
版画にしているのかもしれ
ない。



絵と文 版画家 中野洋一

版画家、陶彫家。鹿児島県生まれ。故郷の風物等をテーマに木版画や陶彫を制作。1995年には朝日新聞日曜版のカットを連載。オランダ国際版画ビエンナーレ展入選など国際的にも活躍。

シンプルで素材「ジンジャークッキー」

みんなから愛される「ジンジャークッキー」。ショウガの風味とシナモンの香り、そしてやさしい甘さの伝統的なクッキーです。欧米などでは、クリスマスツリーの飾り付けにも使われるそうですよ！



お料理研究家 こいけりえ

おやつの時間

簡単、美味しい楽ラクレシピ



◎作り方(約20枚分) ●生地を作る

室温に戻したバター80gをクリーム状に練る。グラニュー糖80gを加えて、よくすり込むように混ぜる。その中にジンジャーパウダーとシナモン各小さじ1を加える。さらに小さめの卵1個分を溶き、2〜3回に分けて加え、よく混ぜたところに、はちみつ大さじ1を加える。なめらかに混ぜりきらなくても大丈夫。小麦粉150gと強力粉50g、ベーキングパウダー小さじ2分の1を合わせてふるいにかけておく。ふるった粉をバターと溶き卵を合わせた中に一度に加えて、ゴムベラで切るように、さっくりと混ぜ合わせる。

粉っぽさが残っていると、こねて、ゴムベラをはずし、手の平で押さえながら、生地がしっとり一つにまとまるようになる。まとめた生地をラップに包み、冷蔵庫で30〜40分寝かせる。

●型をぬく

寝かせた生地は、作業台の上にラップを敷いてその上に置き、ベタベタくっつかないようにする。上からもラップをかけてめん棒で5mmくらいの厚さになるように伸ばす。薄く伸ばしたら、上のラップをはがして



ラップは生地をのばすときにめん棒や板にくっつきやすいので剥く

●オーブンで焼く

天板にクッキングシートを敷いて、型抜きした生地を並べ、上からグラニュー糖をかける。生地は焼き上げると膨らむので、少し間をあけて並べるのがコツ。180℃に予熱したオーブンで様子を見ながら13〜15分焼いて出来上がり。クッキーの色を濃く仕上げたい場合は、グラニュー糖の代わりにブラウンシュガーや黒糖を使います。



生地はくっつけて並べやすいように



打ち筋をすくって生地がくっつきやすい

みてもらおう！



紋付きハカマでハッピー♪
佐賀県上峰町 三浦峰子



「な、な、なんと初フクロウ、めずらし〜」
兵庫県伊丹市 平岡浩子



決定的瞬間！
愛知県あま市 宮崎ひさ子

家族や友だちにしか撮れないステキな笑顔、みんなに見てもらいたいわたし好みの1枚。もちろんかわいいペットも撮れたら送ってください。お待ちしております！
(詳細は7ページ)

OLをやめて2年ほど修業。09年の夏、八百屋さんを始めた矢嶋文子さん（33歳）は毎日が楽しいとさわやかに笑った。地域で愛される「瑞花」を、東京は新宿にお訪ねしました。

ほおずきとススキが棚に。
「野菜と合う香りが少ない
物なら飾ります」と矢嶋さん。

野菜と出会って 野菜で元気

新宿区市谷山伏町に、3坪ほどの八百屋さんがある。入口左側の掲示ボードに、およそ20枚の野菜の写真が貼っていないければ、気付かずに通り過ぎそうなほど小ぢんまりしている。

「一人でお店をするのだから、目が届き、お客さまと会話できる広さがいい。最初の一目で、ア、ここがいいって…」他も念のために見たけれど、やはりここに決めたという。慎重だが決断は速い。しっかりした女性である。



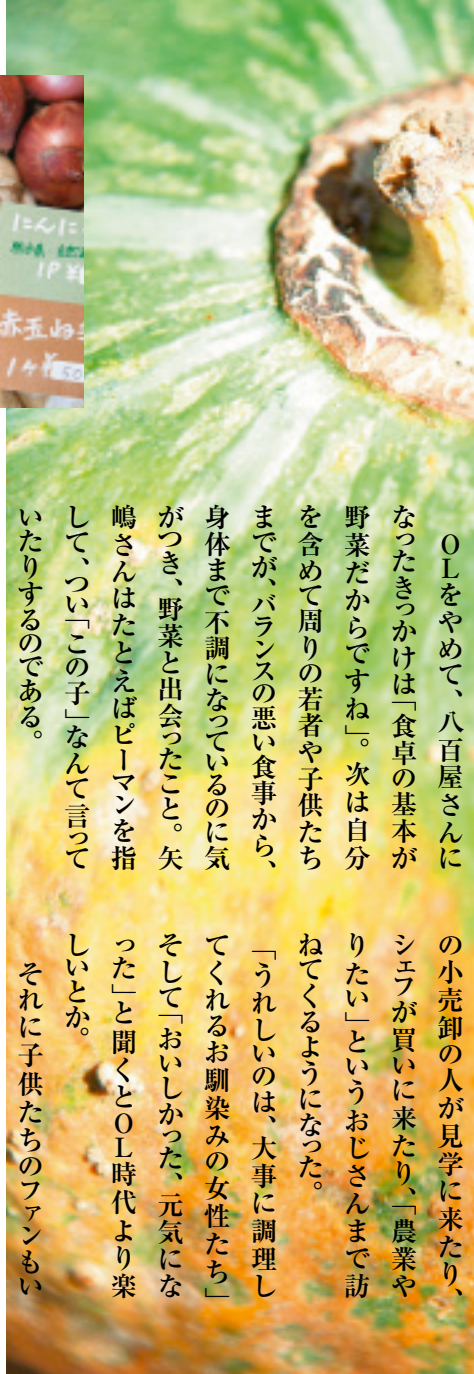
「目の合った子を連れかえるのが
正解。身体が欲しているかも」



たくさん触って、たくさん食べろ」と教えてくれた。舌と手と身体全体で覚えろという言葉に背中をおされて、黙々と野菜の箱詰めを続けた。そして味わった。「え、野菜がなんでこんなにおいしいの?」

お肉も大好きですよ、と言う。けど、野菜の生命力がすごい。元気な野菜で体質も変わるし、自然の力がつすごいと実感した。そうして人脈もなく宣伝もなく、ゼロからスタートしたお店が、ちよつとずつ地域に紹介され、ブログを載せてもらい、新聞社も来て、そのうち、九州から農業

グリーンレモンみたいな女性が
夢の八百屋さんを開きました。



OLをやめて、八百屋さんになったきっかけは「食卓の基本が野菜だからですね」。次は自分を含めて周りの若者や子供たちまでが、バランスの悪い食事から、身体まで不調になっているのに気がつき、野菜と出会ったこと。矢嶋さんはたとえばピーマンを指して、つい「この子」なんて言っていたりするのである。

の小売卸の人が見学に来たり、シエフが買いに来たり、「農業やりたい」というおじさんまで訪ねてくるようになった。

「うれしいのは、大事に調理してくれるお馴染みの女性たち」そして「おいしかった、元気になる」と聞くとOL時代より楽しいとか。



少量ずつ買っている町の八百屋さん。おかずの相談も受ける。

「野菜で元気になる生活」を目指すそうと、05年の秋に会社をやめ、調理師免許を取った。築地の青果卸店で2年近く修業。働く先輩たちから、迫力のあるホンモノの知識を学び「自分も！」と思ったのだという。

る。毎日来る小学生は学童保育の帰りに寄っていく。学校の宿題で「僕は八百屋さんを観察しました」と社会見学の題材になった矢嶋さん。観察されちゃってと笑顔になった。「小さい頃の味覚が大切。きちんとしたものを食べさせたいですね」と生真面目さも忘れない。

将来は料理教室やレストランもと夢が広がる。もちろん、軸は野菜と、安心で健康な食生活。

今日も40〜50種類の有機・自然栽培の野菜を置く。開店して1年。清潔感のあるお店だ。

笑顔がたくさん見える店になりたい

築地の師匠はテレビにも出る。野菜と言えばこの人というほどのウンチクと眼力のある人だ。その師匠が「ウンチクより、



野菜はネームカードつき。大事にされて置かれているんです。



ほ



ほ



え



み



の



ひ



ろ



ば



笑顔

愛知県東海市 市野淑代

病院の会計窓口での出来事です。

「あらっ、何か落ちましたね。会計の時に財布から何かを落としてしまい、それに気付いた係の若い女性が足元を一生懸命に探してくれました。何が落ちたんだろう…。」

「ありましたよ。緑色のきれいな石ですね」

「あっ！すみません。ありがとうございます。これは孫がくれた石なんです。いつも財布に入れてるんです」——そうですが。きつと幸せを運んでくれる石ですね。見つかった良かったです！嬉しそうに「宝石だよ！」とプレゼントしてくれた孫の顔が思い浮かびました。

「探してくれたあなたにも幸せがきますように」——「ありがとうございます。お大事にして下さい」。気持ちのいい係の女性の笑顔に、私も優しい気持ちになり、足どりも軽くなりました。

——平成26年1月。



ジーン

北海道壮瞥町 渡辺純子

先日、私は2週間の入院で手術をしました。ウチは豆腐屋で、家族だけの切り盛りなので、中学1年生の息子に家のことを頼みました。最近反抗期で返事は「うん」と「あー」。家の手伝いもめんどくさそうです。でも、私の入院中は違いました！ご飯を作って、片付けて、洗濯もして、と率先してやってくれたのです。

電話でも「傷、大丈夫？痛くない？」と優しく、ジーンとしました。「今日、おばあちゃんを手伝って玄米漬けたよ」と報告があった後、テストが良くなかったと知らせも来ましたが「今回はまっ、いいかあ」と励ましました。

退院したら、息子の手の甲はあかぎれでパツクリ。「よく、やってくれてたね。ありがとう」と声をかけると、「うん」と久しぶりののはにかんだ息子の笑顔。私も嬉しくなりました。

——アタマ、ぐぐぐ、なでたくなっちゃう。



竹ぼうき

仙台市 清水のり子

東北の北上川流域のお寺は点々と散らばってひっそりしています。立花毘沙門堂を訪ねたのは、晩秋の肌寒い日でした。新幹線の北上駅から遠くないのに、紅葉した樹林に隠れるような小さな無人のお堂。いかにもみちのくの仏らしい、荒々しい表情の毘沙門天でした。

しばらく見とれた後、お堂を出ると、さっきまではなかった人影。それも子供達が数人です。手に手に竹ぼうきを持って、境内を掃いていました。近くの集落の小学生達とのことで、「週に一度、お堂の周りをおそうじするの」と話してくれました。

静かなお寺と、竹ぼうきを使う子供達に会い、清々しい気持ちで帰ってきました。

——透明な秋の陽ざしに…。



男のロマン

北海道帯広市 伊藤あゆ子

午前7時。氷点下16・3度。ハガキを持って近くのポストへ。途中、広場に妙な動きの男性を発見。酔っ払いだと思い、小走りで通りぬけた。帰り際に、もう一度男性を見てみた。目だし帽で顔はわからないが、体つきからして70代中ほど。よろけているように見えた足は、実は規則正しいステップで、たまに足の運びが狂うと、やり直している。あらっ、社交ダンスだわ！私は思わずクスリと笑った。

それから数日後、私は油断して凍った道路で転倒。手首を骨折して入院した。退院後も怖くて、表を歩けないでいた。

今朝、氷点下18度。フツとあの男性を思い出した。思い切って、外に出てみよう。完全防寒であの広場に行くと、男性は同じ出で立ちで、あのステップを踏んでいた。あの人が何を目標に励んでいるのかは、わからないが、私は男性から大きな力をもらった。

——ホットな気持ち。

信頼される人になれる人間として大事なことは、信頼をされるような人物になることであり、またひとたび信頼を得たならば、それにふさわしいだけの行ないを以て信頼にこたえるべきだと思います。用が多いのに、頼まれた仕事はつらい。断わってもいいはずだが、ムリしてやつてみると、出来るものである。その上、気がついてみると仕事をしただけ、自分の力になり、喜びでもあるのだ。

鈴木清一

♡は～とふるボイス⑧♡

～車いすに優しいロサンゼルス～

愛の輪のジュニアリーダー育成グループ研修でのこと。ロサンゼルスに普段は使わない車いすで出かけてみました。すると、お店の前で出会う誰もが笑顔でドアを開け、行き過ぎた人は「ごめんね」と言いながら戻ってきてくれるのです。どの飲食店の入口にもスロープがあり、バスには車いす用リフトが完備されています。地元、秋田を思えば羨ましいような環境。車いす利用者の視点でつくられた街ロサンゼルスは人に優しい！と感動しました。あとは言葉の壁を越えて積極的に行動するだけ。語学力を磨いて再びチャレンジしたいです！

●秋田県 永井のぞみ



このコーナーについては、
広げよう愛の輪運動基金まで。

☎06-6821-5270 HP(<http://www.ainowa.jp/>)

信頼される人になれる



横浜市 山下弘美

「く、く、って笑えちゃうね。しあわせで。」

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。
紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先
〒163-0223
東京都新宿区西新宿2丁目6番1号
新宿住友ビル23階(私書箱47号)

ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
電話 03 (5909) 6703
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

お知らせ

「ダスキン大掃除川柳コンテスト」募集中

●締切日: 2011年1月11日(火) 必着
詳しくは、こちらまで
(パソコン) <http://575.duskin.jp>
(携帯電話) <http://575.duskin.jp/m>
ダスキン大掃除川柳コンテスト事務局
TEL: 06-6821-7856 (受付時間 月～金 10:00～17:00) ※土日祝を除く



携帯サイト

●2ページの中野洋一さんのアトリエ
〒896-1301 鹿児島県薩摩川内市鹿島町蘭牟田2131-203
●4～5ページの八百屋さん「瑞花」の連絡先
〒162-0857 東京都新宿区市谷山伏町1-5
電話&FAX: 03-6457-5165
ホームページ: <http://yaoya-suika.tea-nifty.com/blog>

写真

石川県加賀市 三田友美

祖父が亡くなってからというもの、祖母は畑に行くこともなく家に閉じこもっておりまして。3ヶ月ほど経って、両親や私たちと外食をする為に着替えを済ませた祖母が、「私もボケたのかなあ? いじちゃんの写真がいつものテールにない」と真剣に母に尋ねており、そして「やっぱり行かないわ」と一言呟きました。
その時、先に出ていた小1の長男が戻り「大きいじいちゃんの写真持つてるよ。一緒に食べに連れて行くわ」と言って、探していた写真を紙袋から出して来ました。私の仕事の関係で、産まれたときから実家に預けていたので、祖父には可愛がってもらいました。こんな優しい子供に育ててくれた祖父に今更ながら感謝しています。

—— あったかいな。

湯たんぽ

宮城県東松島市 鈴木君子

ふるさと岩手での同級会は、実家に宿を頼んでの参加。40年ぶりの懐かしい顔もあり、話は尽きることなく、お開きは11時過ぎだった。それでも甥夫婦は起きて待っていてくれた。遅くなったのを詫び、風呂を頂き、床に就いた。すでに部屋は温かくなっていた。ストーブを消して床に入った足元に、ゴロリとした物が。何と湯たんぽが入っていた。
両親も亡くなって30年以上経ち、兄夫婦も3年前に相次いで亡くなり、現在は甥夫婦だけ。それなのにこんな温かい心づくしのもてなしを受けることが出来た。仏間に並んでいる遺影に感謝の手を合わせ、嬉し涙が止まらない。体と心の芯まで温かくなった一泊でした。

—— つむ。お手本にしたいです。



ダスキンの工場では、汚れたモップやマットの〈回収～洗浄～出荷〉に至るまで、あらゆる工程でエコに取り組んでいます。特に、洗濯後の乾燥機（かんそうき）は効率的な省エネ型の導入を進め、工場燃料の使用量を5年前の半分ほどまで減らすことができました。

詳しくはwebで「ダスキンのエコ」を検索してネ。

大きなかんそうきだねーっ!

（ダスキン環境シンボルマーク）

エコタネ
身近に、未来に、エコのタネまき。

ダスキンのお客様係募集中!!

詳しくはwebで

お客様係

検索

※お仕事内容や募集要項をご覧ください。



携帯からもアクセス

お楽しみクイズ

ダスキンの工場でモップなどを乾かす機械は？

き



正解者の中から30名様に「キッチンきれいセット」を**プレゼント!**



下記の要領でご応募ください。

◆ハガキに

①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥性別⑦電話番号⑧現在ご利用のダスキンの店名をご記入の上、下記あて先までお送りください。

◆締め切り 平成23年1月21日（金）当日消印有効

◆ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。

◆当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。（平成23年2月中旬お届け予定）

◆あて先 〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号

新宿住友ビル23階（私書箱47号）

（株）ダスキン「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係

◆応募に関するお問い合わせ TEL:03-5909-6703

※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。

今回ご応募いただいた個人情報については、（株）ダスキンの範囲内でのみ利用させていただきます。プレゼントの抽選・発送の目的以外には使用いたしません。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、（株）ダスキン「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係 TEL:03-5909-6703 までご連絡ください。

第497号のクイズの答えは「リサイクル」でした。

株式会社 **ダスキン**

発行：広報・広告部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集室

〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階（私書箱47号）

TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客さまの個人情報のお取り扱いについて】

お客さまの個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。

個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.jp

●この新聞をお届けしているのは